

打撲・挫傷では、電気治療や温熱治療などの物理療法や理学療法、また手技療法として患部へのマッサージやストレッチを行う。「整骨院・接骨院」、「ほねつぎの先生」という呼称で活動しており、全国に約1万7千人（うち道内は約800人）いる。柔道整復術は、いわゆる柔術（柔道）の対極に位置付けられている。1970年（昭和45年）には「柔道整復師法」が施行され、1992年（平成4年）には従来の知事免許から国家資格に移行した。

#### ○近年の柔道整復師の活動

外務省やJICA（国際協力機構）とともに、モンゴルへの支援を行ってきた。また各種スポーツ大会の現場で負傷者が出た際に手技療法や固定によって、痛みやケガの応急処置を行っている。地域社会では体育館での予防教室や学校授業（柔道）に協力するなど、地域包括ケアシステムの中で機能訓練指導員として長寿社会づくりに貢献している。

#### ○災害医療への貢献

柔道整復師は、大災害発生時に、これまでも各避難所で負傷者の医療救護活動を行ってきた。日本柔道整復師会では、組織内に災害対策室を新設し、柔道整復師にかかる災害医療対策を計画している。広域災害や局所的被害いづれにも対応できるようチームを編成し、日本DMATや被災自治体の災害対策

本部などと48時間以内に情報交換を行う組織づくりを進めている。避難所では、負傷者への柔道整復術による手当（包帯固定、整復、マッサージ、テーピング等）はもちろん、柔道整復以外の医療相談（歯が痛い、介護の相談をしたい、薬がない等）に対しては適切な医療職に繋ぐなど、被災者のために活動できる柔道整復師を育成している。

◇

話題提供の後、各団体からさまざまな意見が出され、活発な意見交換が行われた。

令和5年度は、今後の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、開催日程ならびに開催方法を検討していく。



## 北海道内科医会ならびに 日本臨床内科医会入会のご案内

北海道内科医会は、1989年11月の設立以来、地域医療の推進をはじめ会員の専門知識の研修、保険医療の改善・向上など各種事業に取り組んでまいりました。また、当医会と協力関係を持つ日本臨床内科医会は、臨床内科学の発展を図り、医療の向上を目的に1985年に創設された第一線内科医の団体です。自己研鑽のための生涯研修の推進、「かかりつけ医のためのWEB講座」の開催、高血圧・糖尿病・インフルエンザなどの疾患の研究、市民への公開講座を行うなど、臨床内科学へ大きく貢献しております。また、日本臨床内科医会の専門医は取得しやすく、専門医になると1日研修を経て総合診療専門医の指導医として認められます。

今後とも日本臨床内科医会と連携し、厳しい医療環境に立ち向かい、地域住民に質の高い医療の提供体制構築に向け努力をしております。つきましては、北海道医師会会員で内科を標榜されている先生、内科に興味をお持ちの先生におかれましては、当医会ならびに日本臨床内科医会の趣旨にご理解を賜り、ぜひともご加入くださいますようお願い申し上げます。

北海道内科医会 会長 西里 卓次

入会申込み・お問い合わせ先 北海道内科医会事務局

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目 北海道医師会事業第一課内

TEL 011-231-7661 FAX 011-241-3090

E-mail [naika-ikai@m.douji.jp](mailto:naika-ikai@m.douji.jp)

ホームページ <https://hokkaido.japha.jp/>

